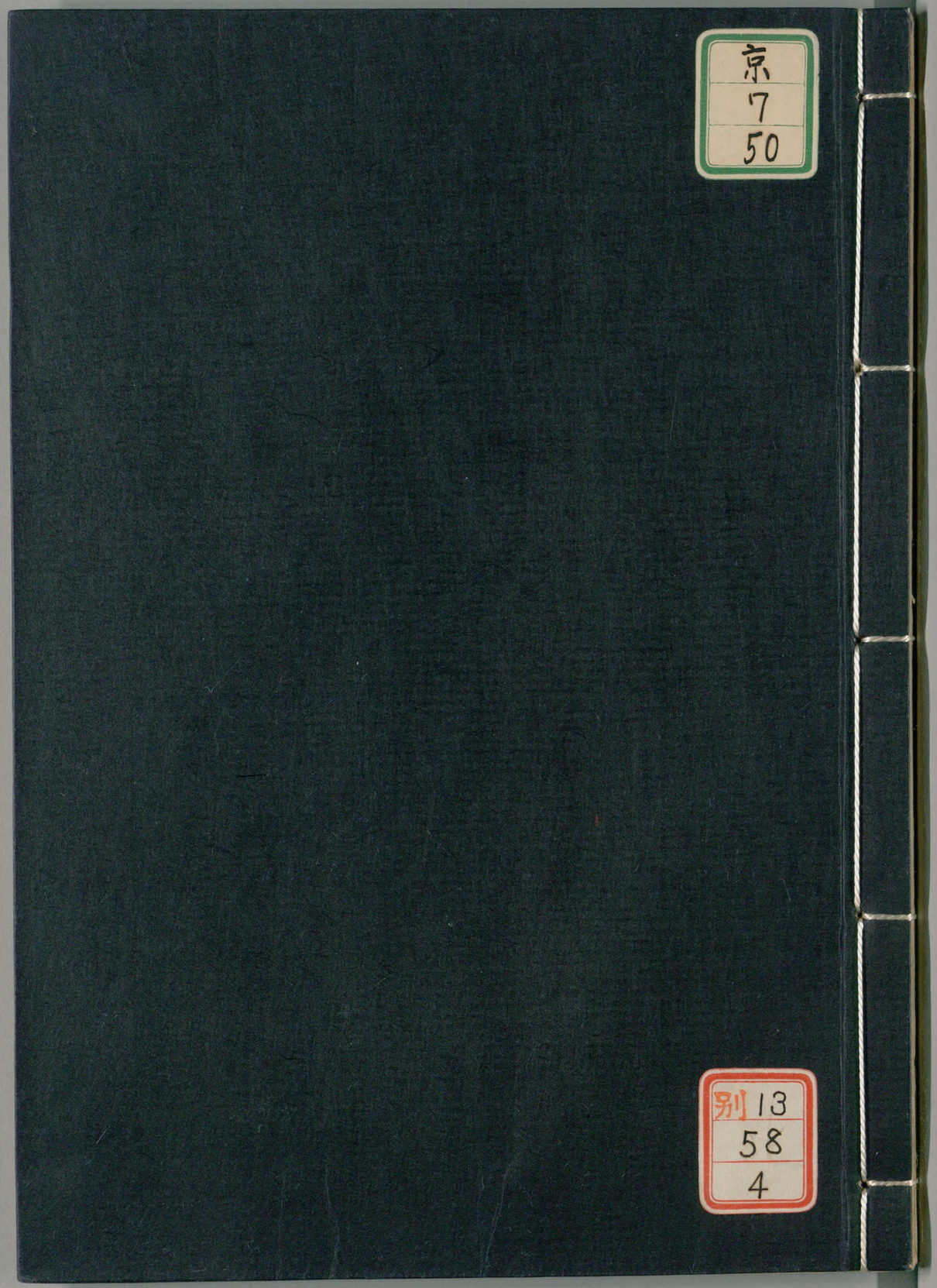

京
7
50

別13
58
4

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』　請求記号 寄別13-58

ガラス使用

伊達文庫

高人部　次第不同

呉服や

故

桃原家蔵

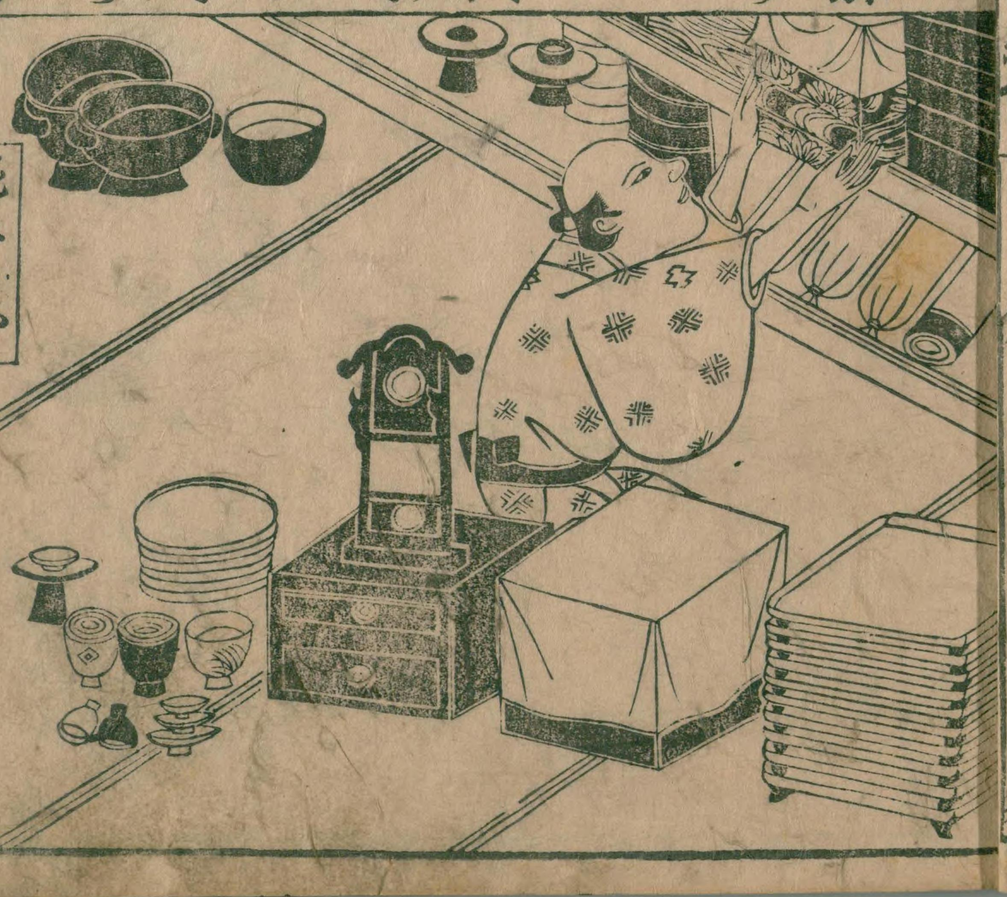
国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用

そうや 橋詰通とうり二丁目や
古着木綿類
日本橋南一丁目永住町
乗物屋敷 家主 源兵衛
茅町二丁目南側とうり金物
室町と始而おろし
本町弐丁目大坂屋 伝兵衛
綿屋
大和郡山とうり金一文字屋 仁兵衛

糸や

東洞院二条下ル町一井
呉服屋
糸や 庵松
紙問屋 長崎みそうのとり
て紙や 紙やおにうるとも
こそなり不こにあり
桃家具や
ふとんの打ぬき
茅葺屋根 高倉 笹屋 捨吉
張付 障子洛 半兵衛 麻の
紙木刀 漆 おられまさ
うの 新町二条下ル
唐物や
煙草 秀奥 草



桃家具や

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

紺業 墨筆 おの万古焼
美濃紙 扇子 ろうそく
これとおさるの一ぷくり

質や
第四利
あり

に参て金銀ときる俗
まの海利をみて
とうてこれと絞揚し
て札をやたく大坂の質
や枚合三百に十人軒
古着屋
絹布木綿ホ
足袋 帯 ゆかた まで

おもい箸の油おとらいあり
ゆてとりもとをおさる句
九百二分第下九丁 表 画図
所のわ不くよあり

切屋
絹木綿 羽織 切
と足袋所 ゆかり 集の文
出来 ゆかた ゆかた
あさうひてらもとひさ
るの一鯛書ようもありき
ぬうして後
道具屋
一切のおたく買うりて

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

それと高なん世とたとゑや
く御でハ小ゑん世と古金
棚と御でハ一条の和堀川
ニ条城下押小路 数下
ルおゐり

特注納切

きんのそびおそびお一
切ハ下ゐり私方の和
ゑんぴつくのおことを
にくりてハおゐまる
ゐ但紙高松おとのて
造ろ雑ぶのねゐり家

古ゑや

橋乃和ハ棚ゐり

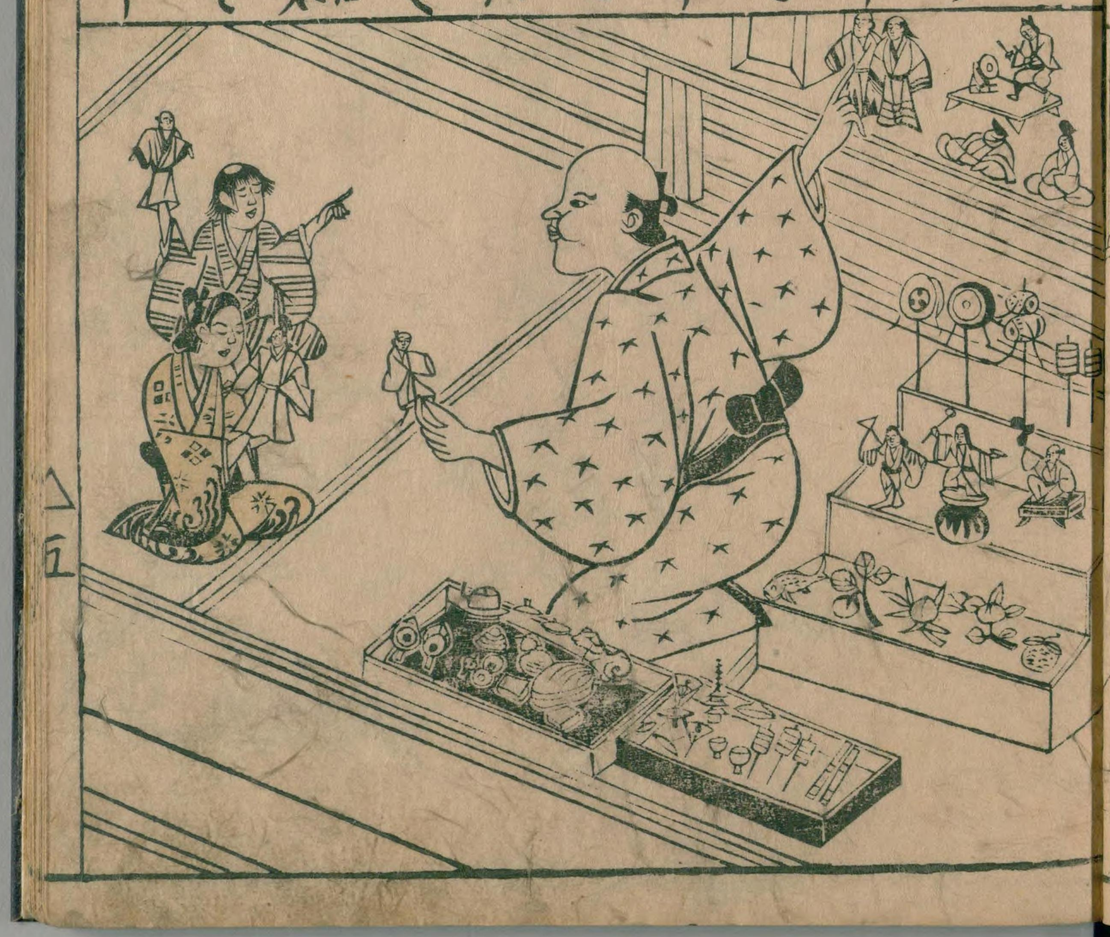
切や

或書に云酒ハ天至
の摩の汗薬利更人へぐゐ
てらまをしるるまも年
養面ゐりぐゆくお三水お
風とまく又云薬の代ゐ
強ゐとめくむ母の舶ゐ毒
とゐれておくへりることを
子ことまをもりて松の三
なおゐ所くとてくることゐ毒
ハまてつてハてくく

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用

よこさまにのろくそれ国へ
蓑禹王の九ぢんをおとし
けるろ禹王こころこゝろめ
て痛ミまいらせ候よしの
りてんをもつて走れとも
一ぢんもそれのごとくなり
や京大坂奈良伊丹鴻
池おゐ名酒のごとくふかり酒
ろう男女杜氏漉的と
つゝかなり



そのあとを大坂とゝめ所ろ
造て弘国ゐいでこゝろり

和泉孔雀ゐ名酒
あるまよ酒ハ聖人をて
のこゝろとろり勧る事
にを酒食して服をを
定うじゝろりうまべ
老子ハ弱水ゆびうて
弘と永釈迦佛ハ二名
子の弘とゐいつゝろと
よんて弘吸と号し

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

あん弘悼にたちの三像
を作らせて三昧そもそも弘
悼そもそも

鞍師 味噌

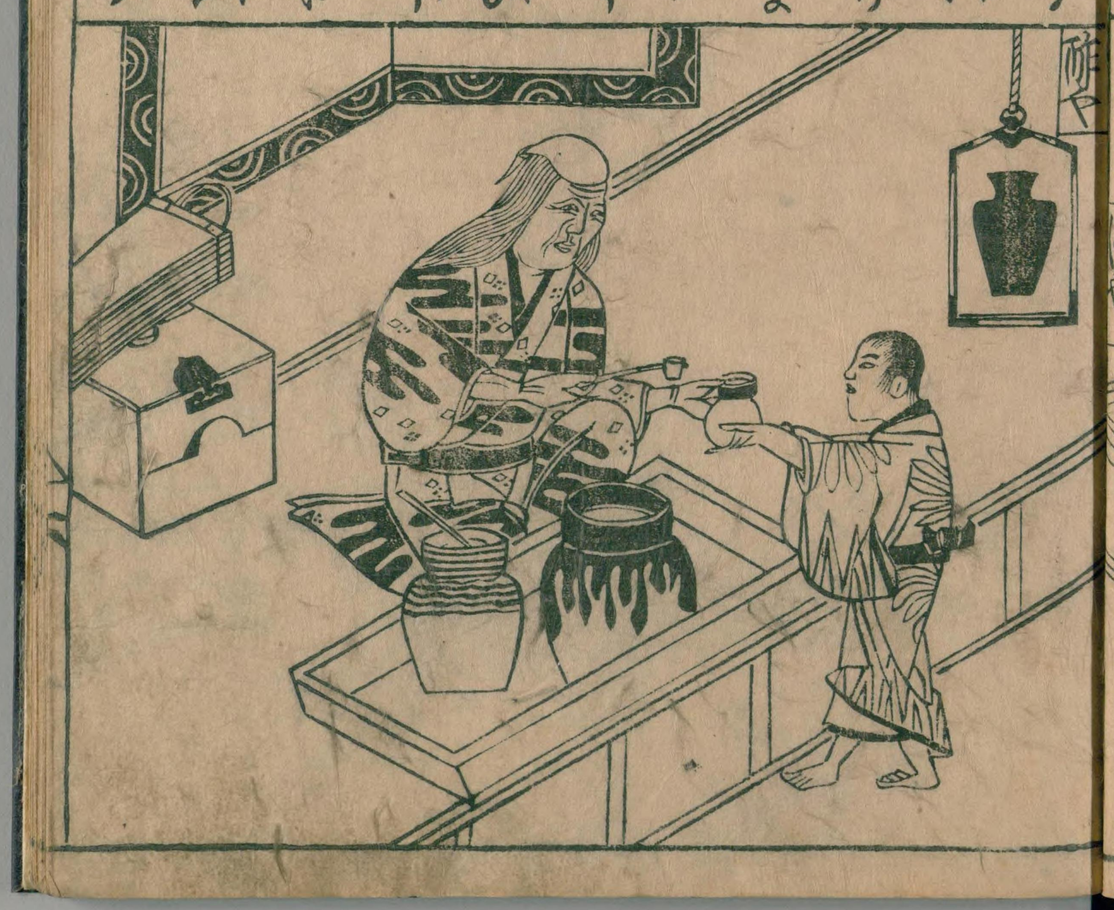
や饅頭やおこし氷万代こ
まことうらの麹舟高板
ありこれをうつし今て
室よ入てこまことをもし
こ今来ぬうらめゆへ
そうらびてもこれとよ
なう室よ律儀のうり
なり

味噌屋 多校よ

高掛と出て相味和そう
紙あつて人形の保存に
る室つるも雛べうぐう
もめん

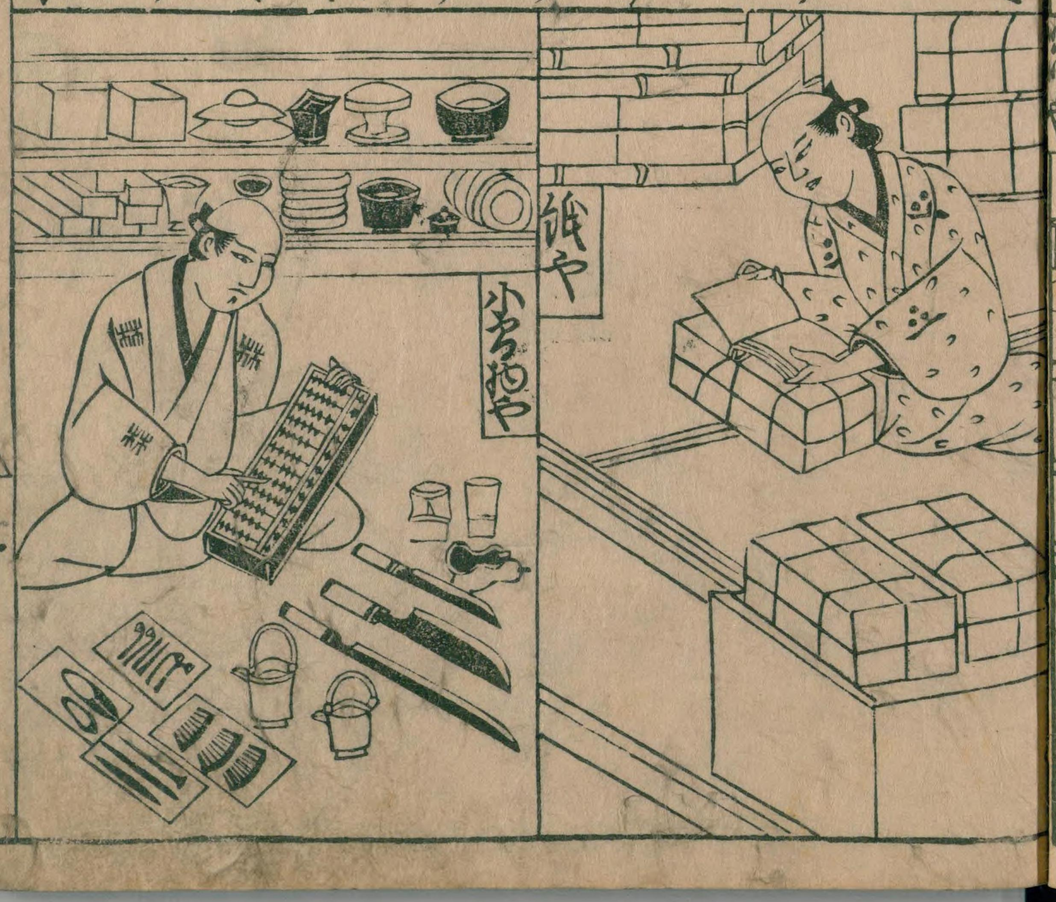
紙屋 紙屋よ

うまをる拍ふくあり
弘重せよいのまる紙あく
して多羅葉よまのひ
こそ庚午みてい作
と割て室とほりつよ
こなり紀私よ
えそにそりろ



国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

ろうや 日雇取てる事よ
手ろうあん 手紙を認て
来札とりにくるやう
小間物や 一切れ買に来る
うりあり 新部になおして
ござる 高人なり 糸ハ
京極通 大坂 博多
紙屋 上たよい 紙とも
いて 板とはろう 庭吉の
お 紙板 こゝや 中沈
まとゝろて 極字を書
それもの 川ことゝろて
今は 板まち 通と 駄し
紙いる 屋のより出ろなり
こもの 杉原 厚紙 半紙
掛物 よろくかゝれり
一切経の 板 黄檗小あり
筆屋 眼鏡注師の 参進あり
孟子論 新の 半紙 義門
義永 こゝなりの 義門と
よい 紙 義そゝなりの 半
なりけん 数 あるそふ



国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

なて年こころざしと彫刻の役
義理納うなうこと有本
やうのもあり

業務屋 一切の手本雪駄
おいろいろく業務数
とにうて商ひもの渡
しきの和国にまた多
く作てこれと商ひ業
数むき網目一千八百九
十二枚あり秋農本綿ふと
三百六十文程あり

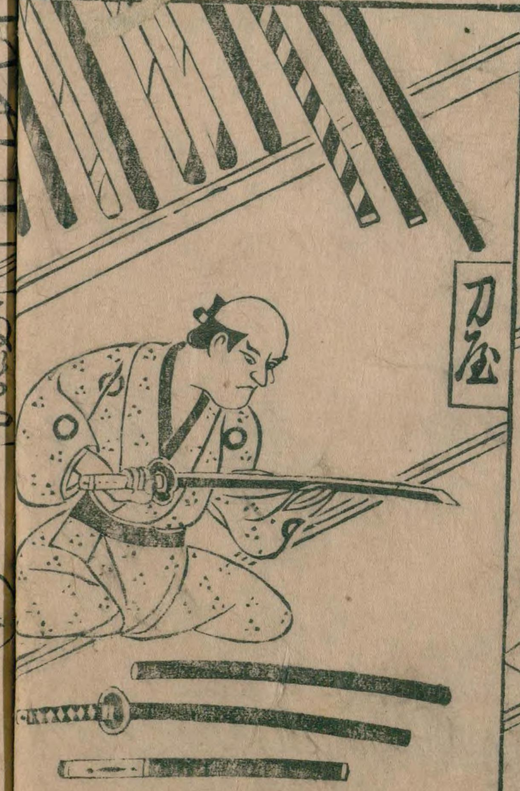
鼈屋 これでさめと武
士は網笠このみ一枚
ほかく拳と殻のうち
にそむうあのにふあり
けもで一カより千カ
及とりかこうあとり
そうすむうく柄よ糸
とおきこのふてこと中
はりものくりこ岡ち
こに柄鼈緒頭ふこあ
つまこのハサントメ チヤンハ

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

あんと同利のもの多し京の
二条通 江戸の通町 大坂の
三郎兵衛 三十間ほり

鍛冶屋

鍛冶のすがたは三寸
一分ふり今の宝ふるもの
やんくのすこしまるひづ
の湊の軍平ふんてうり
寺町二条通 大坂は堺筋 三
郎兵衛一丁めよあり大小り
ほうちやうとをこめておくるか
又は鍛冶屋も飛てつかひ



刀屋

ものくあるとたてくらてくらか
しと秘蔵をとろまゝ鍛
のもてるか一てんこいい
ゝまて一てうるね一分一称
てゝのんこまて水ようてくる合
玉ちりちりと合てありて
ゆめてやうるゝをほを
ついとうてはとめるをゆ
ゆるあるゝおでねい一尺
てん一まて一ついてゝまて一尾の
ん一まて梅のとをみて合ある

銅屋

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

紙屋

紙すき

薬や

薬種

茶や

茶

帷子や

帷子

綿屋

綿

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用

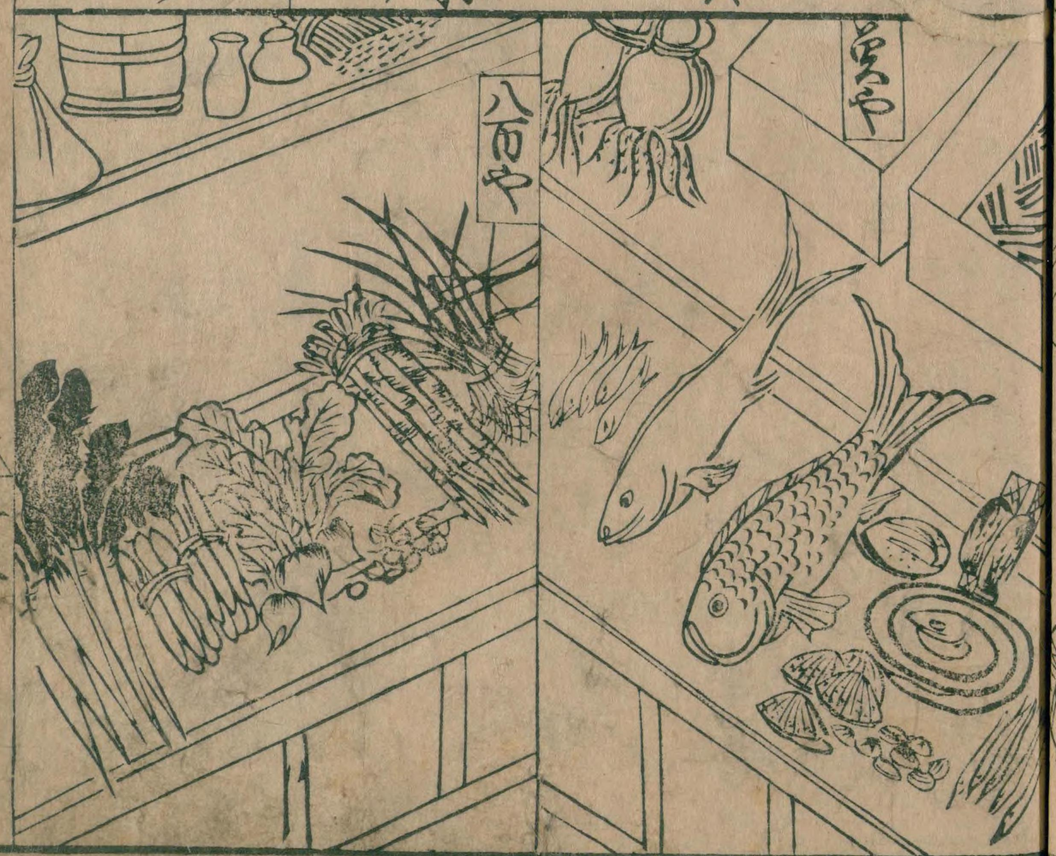
おやこうさぎのやり

[illegible]物や　旅のおもとの一宿
蔦漉紙縄綱引素掛の
沓わらじとうり高くつるし

八百屋　水菓子本所深川
これをおさるにおくるふ
えびの生き

綿屋　唐布
やよいをと高又は橋綿と高
下六万三条西ておりおと

米や



八百や

魚や

先こうて宮川ものこと
出ル

米屋　米の松風
ふりた蒲大坂みしくと
ふんぎんてあつかつて
とうふよりてこれ小豆一
切のよ穀太子の西にあり

魚屋　松風もの粉米
町の乳ぼう粉綿出来
こまの下ぐつよりあり綿
同じくこと高川下よあり

八百屋　一切おもその網業

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

乾物海草木実の類のわ
らわらものへ卵類と和布を
ゆがり

小鳥や

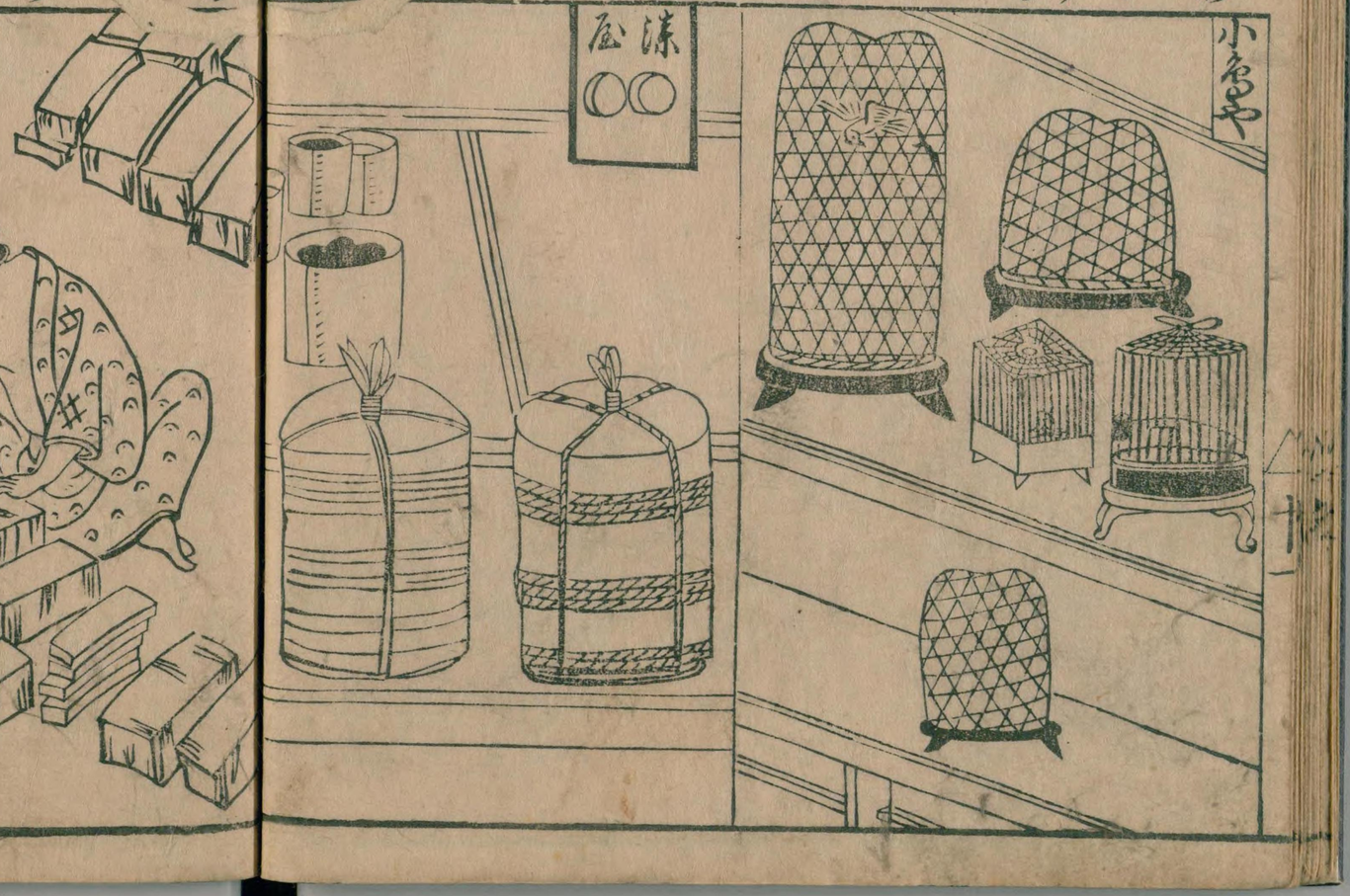
籠の鳥と雀とを商ふ家有
とゝろく

漉屋

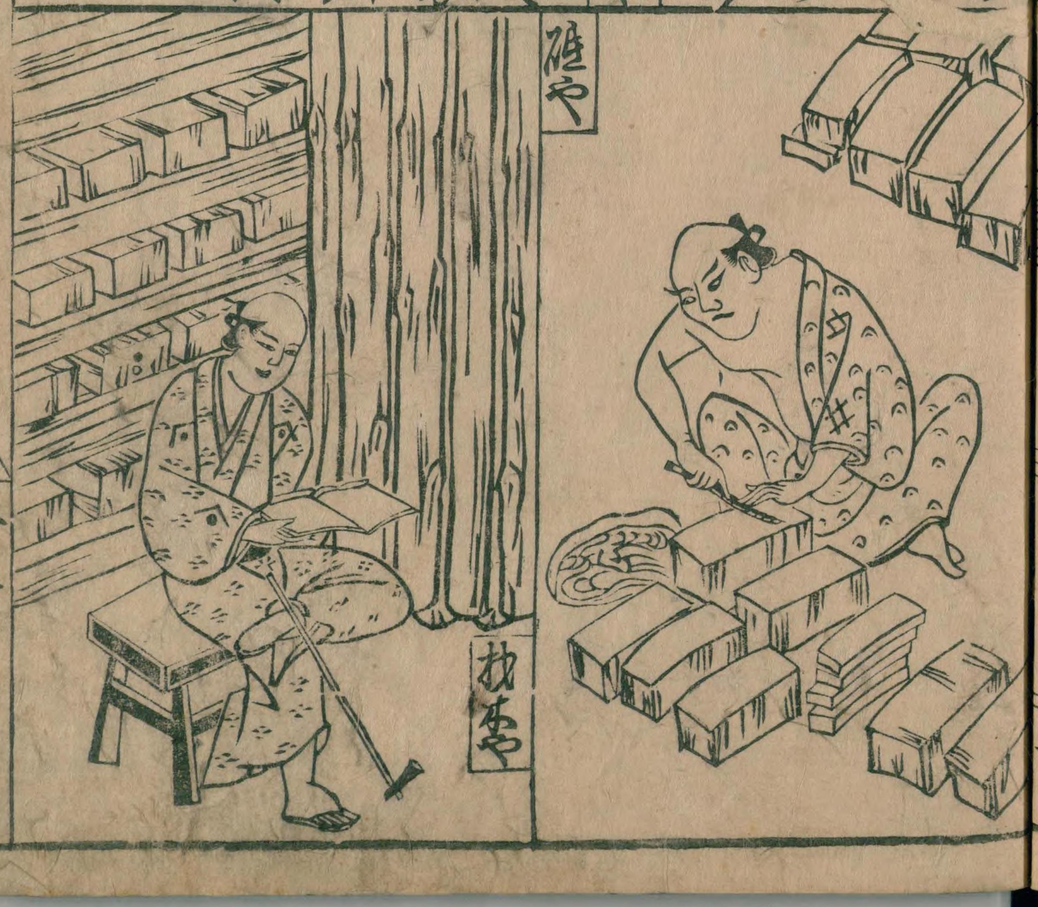
漉あり紙雁皮とを商
ふこゝにあり

雁や

雁の剝とを商ふ家
より出るこの坂のうへ雁や小
雁ハ判刀雁の名あり眼伸
礼翅と俗ていふ



ゆみまでづくりとゝすつる
ものも子屋もこゝにて
ふるへりとぐにもり
大坂の接場あり



拔売

ありこゝにて本当と初拔ゆ
より出る程こまかなるもの
程拔師仏師と物程とて
うりのものとりくむ

竹や

竹や門口のあこみ

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

茶くみあり 掃除あり 門 総一切の作事 と来らば 茶湯道具 作事や 釜屋 の釜 大小一式 切ふたあり

ムシ・風炉 炭や 海山の名物 松 井筒 水指

京方雪の曙 焼 大坂 摸

竹や

海苔や

下草や 立花 の一客 高下駄 新町 八ツ橋 通

撓や 花やと望 冊 波 都 抹茶 問

撓茶や 宇治茶 新や 高下駄 問 とろゝめ 紙の箱 炭 高山茶中

下草や

撓茶や

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用

鳴上ルて二条也そよろ
こもの外多条七条ありて
望ありてこれと賣ありて
かつけう弟子小よていりて大坂
めて本師よりひ弘岡こて
岡町ふ

薪屋

菅薦屋 冊俵

右冊ふ彫岡こ
のたことういこれとあらう
割師ひ形のそりふうへ大
津集留もうそうめう
う約束やり庖丁ハ場
よりうまうこ三文字石
もよう代ありり

菅薦や

中振分剣悪にる
おひ形ふうと最弘とそて
形とにくらいて芝と圓子
ありり

油屋

大坂出りそ油ふ
てこぎり形こ出ひ弘む
こそこひこそありり
ひうの油と名物
と今ふう

油や

菅薦や

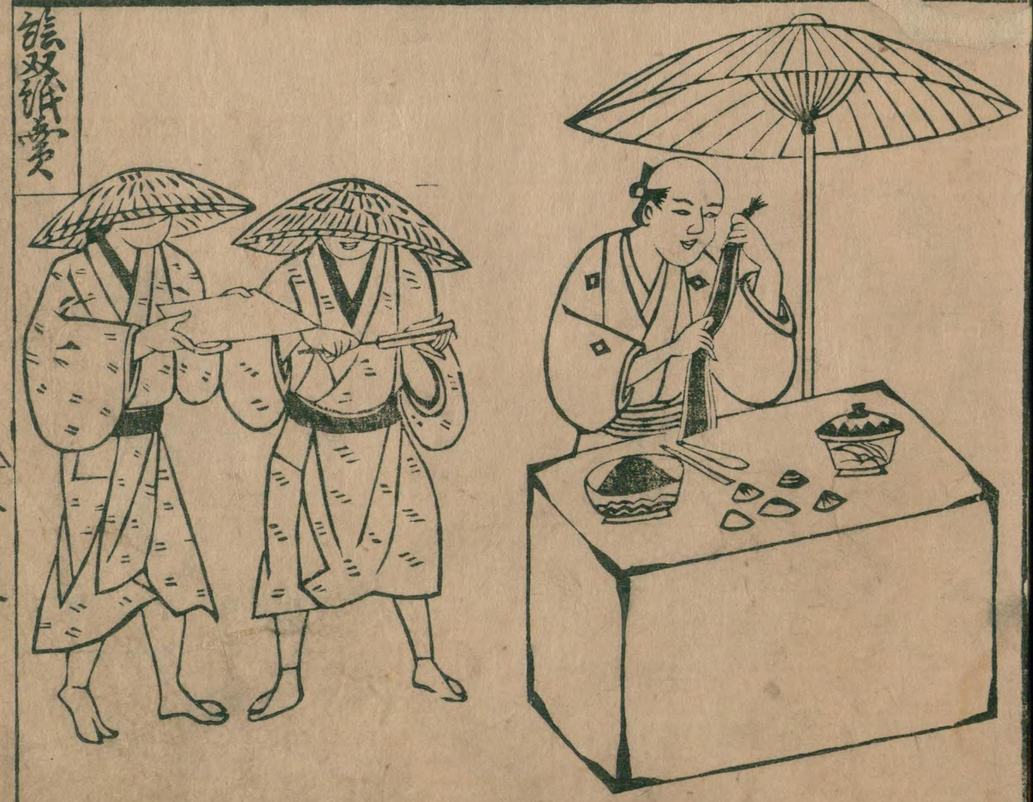
国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

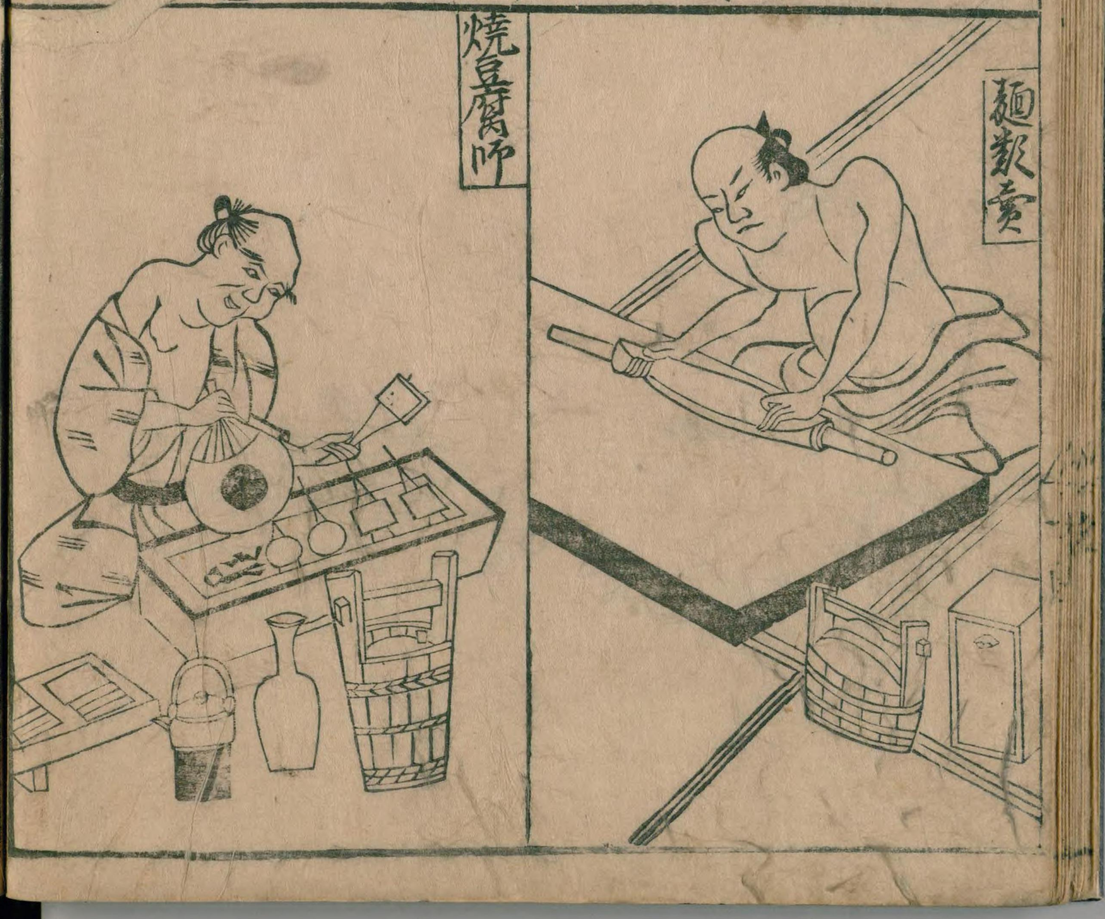
麺類賣　饂飩蕎麦切と
一緒に切ふたをめ来よ今ては
なひありくそも永麺おくへ
精進食とぎうして一緒の代
ふ下切よそとのきるよ大
仏つおとともめ下くにあり
又祇園町四条暖あよ飯懐
食やすり代八下

焼豆腐師　市れ町法よ
場祭礼の所万日千日の
廻向平等人のあつまるふに
うどとかの四人とそこいよきよ
酒着と行合なり笑顔
絵師の姿の焼師始うれ
業うふ一生なり

口上商人　一万の合薬等よ製
行のごひ万方法合場
あ出手売うれとうり
又ふ手と指蛇とうを縁人形
と面おまよて人とあて
えとのふ影の役一杯の商
なり

能双紙賣　七上て

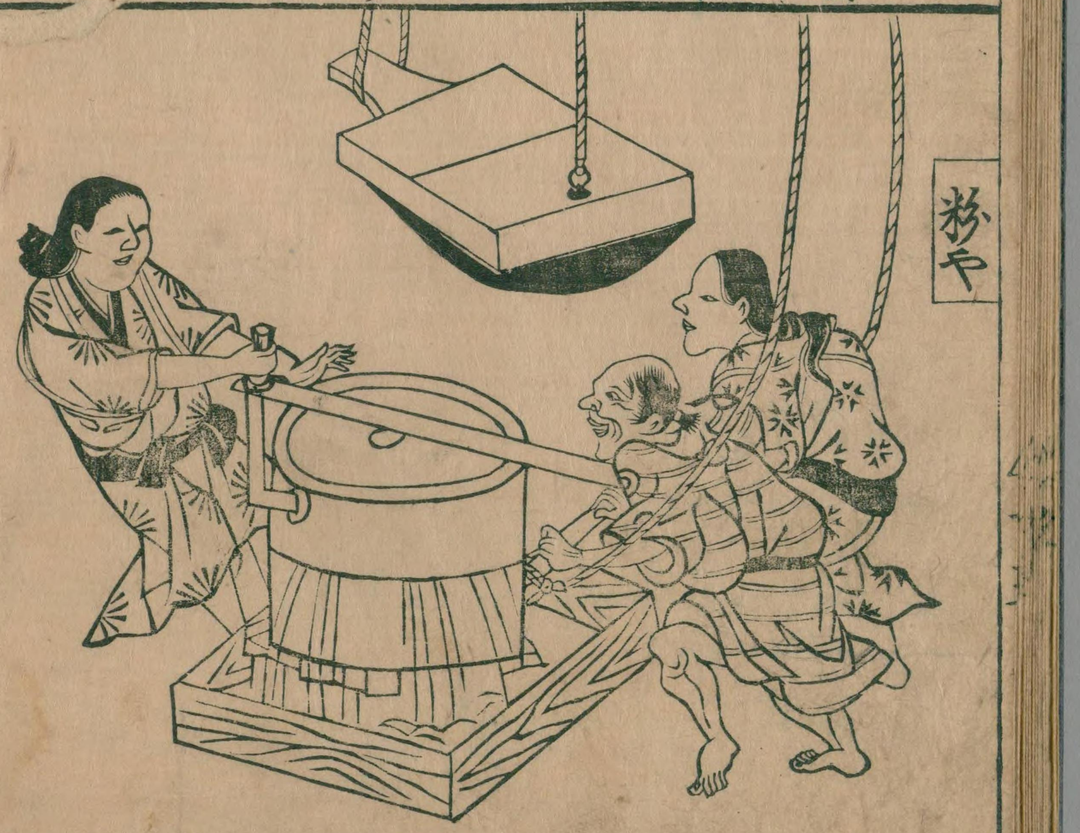




国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

わくもの かりうけ ぬし たる人の 座の上
ぜにすう 人のさし合とかくりをふ
ぶにして 浄瑠璃 ぶし 語りて
おのづと 人のこうべ 動く 男女 老若
のうのく 座 しのり ぬきうち
の 人形 ぬき 取 ぬき
ぬきあし 人形 ぬき 取 ぬき
ぬき 取 ぬき 人形 ぬき
ぬき 取 ぬき 人形 ぬき
ぬき 取 ぬき 人形 ぬき

紙や



石灰屋

石灰 ぬき 取 ぬき
石灰 ぬき 取 ぬき
石灰 ぬき 取 ぬき
石灰 ぬき 取 ぬき
石灰 ぬき 取 ぬき

木綿や

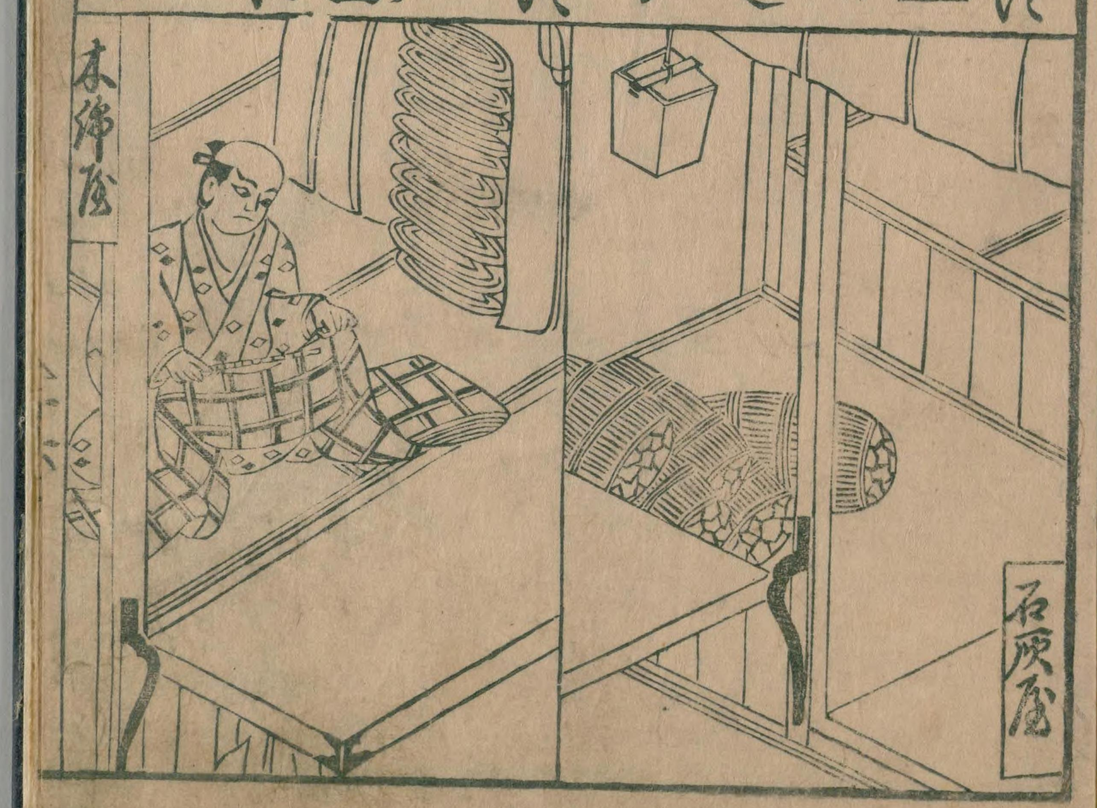
木綿 ぬき 取 ぬき
木綿 ぬき 取 ぬき
木綿 ぬき 取 ぬき
木綿 ぬき 取 ぬき
木綿 ぬき 取 ぬき

蚊帳や

蚊帳 ぬき 取 ぬき
蚊帳 ぬき 取 ぬき
蚊帳 ぬき 取 ぬき
蚊帳 ぬき 取 ぬき
蚊帳 ぬき 取 ぬき

材木や

材木 ぬき 取 ぬき
材木 ぬき 取 ぬき
材木 ぬき 取 ぬき
材木 ぬき 取 ぬき
材木 ぬき 取 ぬき



国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

名産未詳 柚の実

りょう嶺 北野 よし野

大坂 石切場 天満天神

のお 紅谷 下谷 本紅 麻布

蘭麝粉

ほやおひ粉 うろこの事 美人 よこれを用ひ粉 ゆよ粉のほやうろくに三

ものてわい一方よりとてもものつやうひこのくとや当世粉

うろこやり男女

和紙 名産 為ひたく黒く明

にうらへ紙業たくを

添うる粉やまくよ薬

の拍九月末二月中うら

ある冨小袖の染上れ

町

清絹味噌 悪玉

て製まろう町へ売

まうる男按摩のく

ぐを上弘にうる事

毛洗海味噌うらの菊

極上曲物よ奇麗なる

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

寄別
京
7
50

桃原家蔵

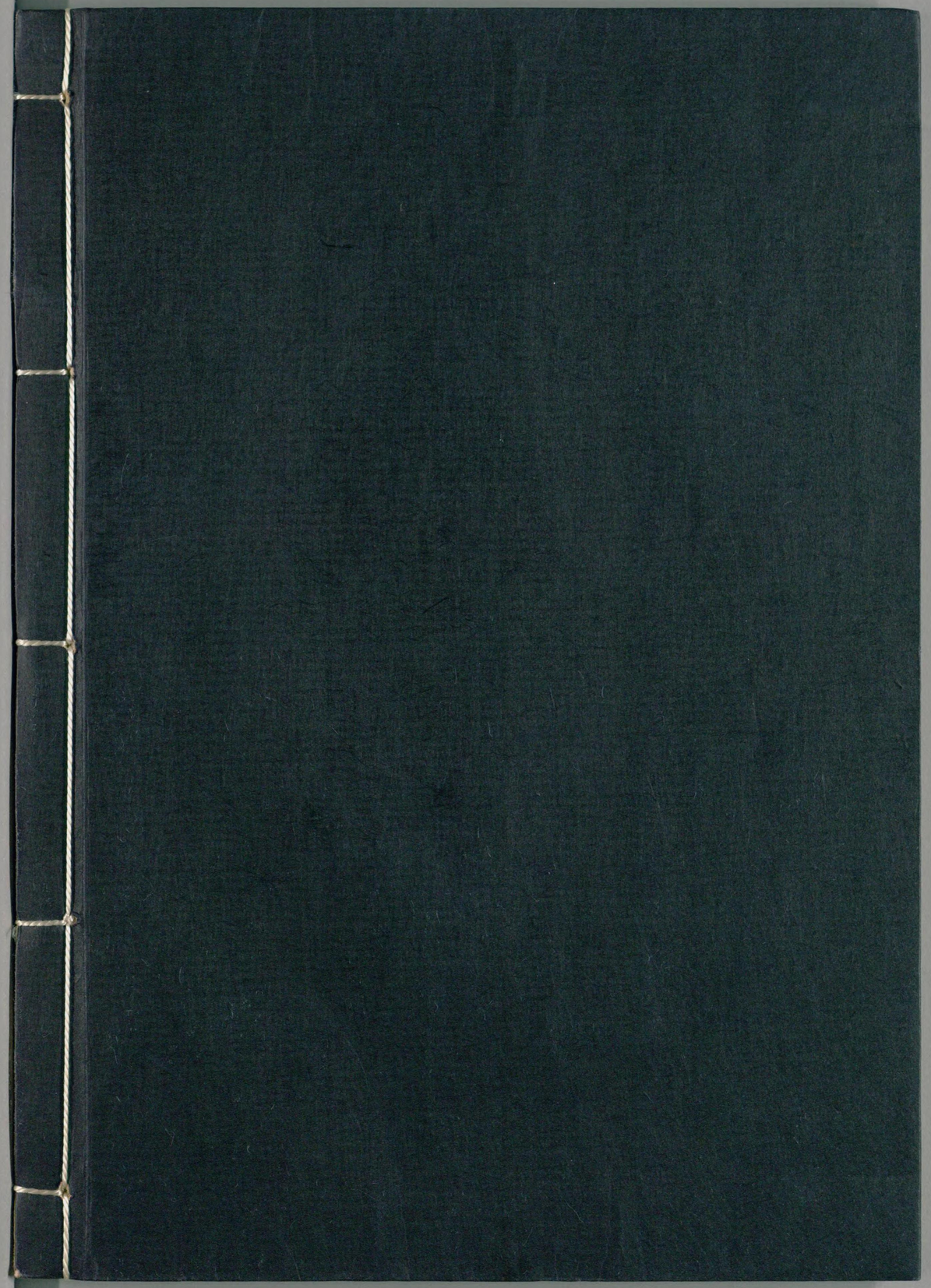
こもとおりひさしの
ねうちまでも下にもくに
おくるなり一方とるさ
ぬへりうをおさんにかこと
ゑさをねうりするさ女
ひがうとこゆゑ思うりす
うそいわんすとそり

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58
ガラス使用

別13
58
4

国立国会図書館　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』　請求記号 寄別13-58

ガラス使用